

## 平成20年度開館時 木更津市郷土博物館 金のすず 基本構想

### 1、基本理念

木更津市は昭和17年11月3日に旧木更津町と岩根村・清川村・波岡村が合併して誕生し、今年で65年目を迎える。約12万の人口を擁するが、新日本製鉄の君津市への進出後、在来の住民と外来の新住民が混在する都市となり、現在、2世、3世も含めてその世代が着実に地域社会の一翼を担いつつある。

また、公民館等で実施する郷土史講座等には、特に新住民を中心とした多くの市民が参加している。これは、木更津という地を自らの拠って立つ故郷と定め、それを理解して愛したいという郷土愛の発露に他ならない。

今日、地域博物館は、こうした様々な世代の地域住民の基本的な欲求に寄り添いつつ、観光客や研究者への対応も要求される。

そこで、博物館の基本理念として以下の点をあげておく。

- ・木更津を中心とした地域史を、展示を通して学ぶこと。その内容は小中学校の授業内容にも対応できるようにすること。
- ・書画等芸術の木更津の文化的特徴を学ぶこと。
- ・木更津の文化の創造、発信基地であること。

### 2、基本方針

- ・東京湾を入り口とした房総の表玄関としての木更津という位置づけを念頭に置く。
- ・展示解説はわかりやすさを旨として、学校の教科書に対応できるような通史的な叙述を基本とし、なおかつ木更津の特色がわかる展示とする。
- ・年複数回の企画展示を実施する。

### 3、事業の概要

- ・企画展に伴う講座を集会室・旧安西家住宅・旧金鈴塚遺物保存館等を使用して実施する。
- ・学校への出前授業等(アウト・リーチ)を要請に応じて実施する。
- ・ボランティア等の養成を行い、事業を弾力的に展開する。
- ・友の会・木更津市文化財が伊ボランティアの会等を主体とした体験講座の実施。

### 4、基本理念

木更津市はこれまで金鈴塚遺物保存館での郷土資料の公開・展示、講座の開催、美術展や絵画教室の実施など、様々な郷土文化の発展に努めてきた。

このたびの県立上総博物館の移譲を受け、今後(仮称)木更津市立博物館は、郷土に根ざした市民文化の興隆拠点として、市民ニーズを把握しつつ、資料の収集様々な展示や事業を含む本格的な博物館活動を展開することが肝要である。

### 5、展示方針

- ・金鈴塚古墳出土資料を中心として、県から移譲された資料および市所蔵の歴史・民俗資料及び書画を展示する。
- ・年間複数回の企画展示を実施する。

### 6、事業の概要

- ・企画展に伴う講座を集会室・旧安西家住宅・旧金鈴塚遺物保存館等を使用して実施する。
- ・学校への出前授業等(アウト・リーチ)を要請に応じて実施する。
- ・ボランティア等の養成を行い、事業を弾力的に展開する。
- ・友の会・木更津市文化財が伊ボランティアの会等を主体とした体験講座の実施。